



文化庁助成事業「World たぶんカフェ・ファイナル」

1月15日（日）草津まちづくりセンターにて、地域に暮らす外国人にとって、より住みやすい草津、より働きやすい草津、より子育てしやすい草津にするためのワークショップ「World たぶんカフェ・ファイナル」を開催しました。

2017年1月15日にKIFA主催で滋賀県後援の文化庁事業「たぶんカフェファイナル」が開催されました。サブテーマは『誰もが居場所と活躍の場があるまちへ』。

前日からの雪にどうなることかと、はらはらしましたが、大雪にもかかわらずたくさんの参加者でした。今回は議員との情報共有の場づくりということも大きなテーマのひとつで、橋川市長、中嶋議長はじめ十数名もの議員にもご参加いただくことができました。

7つのテーブルに分かれてワールドカフェ形式で3ラウンドのワークショップをしました。

〈子育て〉〈働く〉〈暮らす〉の3つのテーマでの外国の代表者の発表をもとに各テーマ別に、外国人と日本人とがそれぞれの立場で「居場所」「個々の役割」「活躍」の視点で、活発な議論がなされました。最後は各テーブルのファシリテーターがまとめを発表。（①ママ友との距離感など日本人なら言わなくてもわかることが察せない②お医者さんに症状が説明できない／バスの案内、関西弁がわからない③日本の企業文化や福利厚生の説明がない④地域の暮らしやイベントに関する情報がほしい⑤スポーツ、言語交換、様々な人と交流できる場所がほしい⑥日本語だけでなくごみの分別やマナーも教えてほしい）など様々な

意見が出され、文化の違い、言葉の壁、制度の問題、踏み出せない心の壁など日本人が気づけなかったことに対して、意見満載でした。外国人の困りごとは日本人の困りごとでもあるなど新しい気づきもありました。今回のたぶんカフェファイナルでは事業全体のコーディネーターとEテーブルのファシリテーターをさせていただきましたが、長年あたため続けてきた思いを今回少し形にすることができたことに感無量です。

草津市でこのような場を持つことは画期的なことで、UDCBK（アーバンデザインセンターびわこ・くさつ）の協力があったからこそ実現できました。さらにたくさんの議員と情報共有できたこともあわせ、すべてが多文化共生社会の推進につながるのだと強く感じました。

この事業の計画にあたりUDCBKはじめたくさんの方々の協力いただいたことに感謝しています。草津市民のパワーと今後の展開が楽しみな取り組みでした。

（文化庁日本語教育コーディネーター KIFA副会長 中西 まり子）



クサツハロウィン2016

10月30日（日）晴れ渡った青空の下、クサツハロウィン2016に参加しました。今年はJICAと共催で民族衣装体験、循環型社会研究所えこらと共催でエコキャンドル作りを行いました。



秋晴れのもと草津駅周辺でクサツハロウィンが開催されました。ハロウィンというイベントは東京や大阪、USJだけでの話かと思っていましたが、ここ草津でも大いに盛り上がりびっくりしました。魔女やかぼちゃ、アニメのキャラクター等、この日たくさんの個性的な仮装に出会うことができ、見ていただけでも楽しかったです！

KIFAでは草津公民館前で循環型社会創造研究所えこらとの協同でキャンドルづくり、そしてJICAとの協同で民族衣装体験を行いました。

キャンドル作りでは、キャンドルグラスの形を選ぶことから始まり、そしてカラフルな色を自分好みに流し込んでいくことでオリジナルのキャンドルを作ります。廃油からできているので環境にも

優しいキャンドルです。多くの人に楽しんでもらえ、予想していたよりも早く完売してしまうほど大人気でした！

そして民族衣装体験では、きらびやかなボリビアのジャケット、メキシコのハリーポッターのようなガウン、サウジアラビアの石油王のような帽子等、様々な国の特徴ある服や帽子が集まりました。隣のブースではプロのカメラマンがおり、仮装した姿を撮影してもらうこともできました。世界の衣装が見られる、そして着ることができる機会はめったにないので、こられた方は興味津々になりながら体験していただきました。世界を感じながら仮装を楽しむことができる、これぞ国際交流協会KIFAのハロウィンイベントだなあ、と思いました。また来年は私も仮装して参加したいです！
(KIFA会員 香西彩子)



国際理解講座

こんな国で日本人 ～ブラジル編～

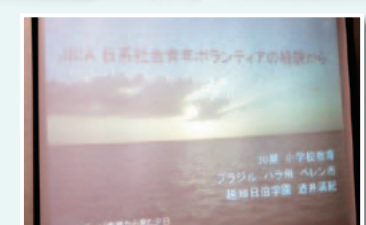
日系社会青年ボランティアとして、南米ブラジルで活動された酒井先生による、現地での体験についてお話していただきました。

12月9日（金）夜7時より草津市役所にて国際理解講座「こんな国で日本人～ブラジル編～」を開催いたしました。

JICA日系社会青年ボランティアとしてブラジルはアマゾン川のほとりのパラ州ペレン市で現地の私立小学校「越日伯学園」で教師として2年間にわたり活動された酒井満紀さんを講師にお招きしました。日系社会青年ボランティアとは、中南米の日系人社会の支援を目的とした、JICAが行う海外ボランティア派遣制度です。

報告会の一番最初にアマゾン川に映る夕日の写真を見せてくださいました。その写真を見るたびに心が躍るそうです。報告を聞いていらしゃった参加者の皆さんは、そんな美しいアマゾン川を見たいと感じられたのではないのでしょうか。

色々なお話とともに、酒井さん手作りの甘いブラジル菓子とブラジルコーヒーをいただき、遠いブラジルに思いをはせることができました。





いろいろな国の料理を楽しみながら、地域の日本人と外国人が交流するパーティーを開催しました。

今回はいつもの新春のつどいは違う形で行うことになり、スタッフとして参加しましたが事前打ち合わせの時間もままならない感じで挑んだので、正直どうなるか不安なところがありました。

従来は持ち込み料理のポットラック形式でしたが今回はほとんどがお店に頼んでの料理となりました。デボラさん手作りのペルー料理のほか、デリバリーやテイクアウトのパエリアに韓国料理、中華、ネパールカレーにお寿司、デザートなどなど、色んな国の料理がテーブルいっぱい色とりどり並びました。日本はほんと食の種類が豊かだなあと感じました。

朝から豪雪だったので参加者も少

ないかと思っていましたが、午前中にあったたぶんカフェファイナルに参加された方のほとんどが来られ、100人くらい集まり、部屋の密集度もすごかったです。ご飯も美味しいと好評で、話をしていたらあっという間になくなって足りないくらいでした。

参加者は議員さんから外国の家族連れの方、仕事をしながら日本語教室で勉強されてる外国の人、自国のために日本に勉強をしにきてる人など色んな人たちが集まった場でした。見た目だけではふつうの人でも話を聞いているとすごい人だったり、慣れない英語でなんとかコミュニケーションをとろうと頑張れるのも、こういう日本人、外国人と区別のない交流の

場ならではの楽しさだと思います。

マジックショーに最後は真冬のサンバで盛り上がり、あっという間の2時間でした。

ちょっとしたイベントでも準備から設営など人手はたくさん必要で、今回滋賀大学の学生(CIS)のみなさんやローターアクトさんの手伝いがあったからこそできた痛感するイベントでした。

無事終わってホッとしたり、楽しんでもらえてやってよかったと思いました。それがスタッフとしての一番の醍醐味です。

(KIFA会員 治田 美希奈)



留学生交流



バスツアー



公益財団法人中島記念国際交流財団助成事業「留学生と行く滋賀の自然と環境体験バスツアー」を開催しました。あいにくの雨にもかかわらず73名（うち留学生42名）の方がご参加くださいました。

11/27(日)に恒例のバスツアーが開催されました。当日は朝からあいにくの雨でしたが、総勢73名のバスツアーが始まりました。

立命館大学を出発し、最初に向かったのは愛荘町にある“金剛苑”。藍染を体験しました。白のハンカチにジャパブルーを染めていきます。自分の好きな柄に染めるため、白を残したい部分に紐を縛ります。どんな柄になるかは染め上がりからのお楽しみ。染め上がりを待ちながら、染め工程や体験場所の“金剛苑”を見学させていただきました。ここ金剛苑は、江戸時代の建物を移築した家屋で、五右衛門風呂や釜戸など、その当時の物が沢山残っており、貴重な物を見る事が出来ました。そして、いよいよ染め上がったハンカチの完成です。素敵なハンカチを手みんな笑顔で記念撮影をし

ていました。

お昼ご飯は“さがみ五個荘店”でハラルの食事をし、その後近くの“UCC滋賀工場”の見学に向かいました。UCCは世界初の缶コーヒー製造メーカーです。「コーヒー飲むなら〜?」、「ユーシーシー!」を掛け声に工場の中へと進んで行きました。自動化が進んでいるので働く人の少なさに驚いたのと、コーヒー粕の再利用として、消臭、脱臭効果でトイレなどに置くと良いそうです。

帰りは“愛東マーガレットステーション”で地元の野菜を購入したりして、立命館大学へと戻りました。

日本の伝統や文化に触れながら留学生とも交流が出来て、とても良い1日になりました。

(KIFA会員 西川 真由美)



Dear KIFA staff.

First of all, thank you for organizing such a wonderful event. It was very enjoyable. In spite of rainy weather, we really learned a lot about Japanese traditional textile. Especially, making our own handkerchief was very interesting. Even though the event organized at the end of the November, the nature and beautiful scene of the places where we visited were looked like as the middle of Autumn. We took a lot of wonderful pictures for a long memory.

Dinner also was excellent. There were so many type of meals, so all of us got full. Even if I am staying in Japan more than one year, it was my first experience to taste some of the foods. They were very delicious.

Visiting to UCC Coffee Manufacturing Factory gave me more information about it. Before going there, I had no idea about this plant because of I was not keen on of coffee. It was very interesting to see process of producing coffee drinks and getting information about it.

Overall, the day which we spent together will stay in my memory for my lifetime.

Thank you all again and I wish you success in your future plans.

Best regards, Jasurbek.

まず最初に、このようなイベントを企画してくださいましてありがとうございました。とても楽しかったです。あいにくの雨でしたが、日本の伝統織物についてたくさん学ぶことができました。とくに藍染め体験でハンカチを作ったことは興味深いものでした。11月末にもかかわらず、紅葉が美しく、記念にたくさんの写真を撮りました。

食事とても素晴らしかったです。おなかがいっぱいになるほど、いろんな種類の料理がありました。日本に来て1年以上たちますが、出された料理の中には食べたことのない料理もありました。そして、そのどれもがとてもおいしかったです。

UCC工場見学でも学びがありました。私はコーヒーが苦手なので、コーヒーの木についての知識は何もありませんでしたが、工場でコーヒーの木について学んだり、コーヒーを作る過程を見るのは面白かったです。

みんなで一緒に過ごした一日はとても思い出深いものとなりました。本当にありがとうございました。これからも楽しい企画をお願いします。

(ウズベキスタン出身 立命館大学 経済研究科
Jasurbek Yusupor)

世界と出会う 交流広場

素晴らしい秋晴れの青空の下、栗東さきら前のイベント広場で「世界と出会う交流広場」を開催しました。今回は守山市国際交流協会も加わって、草津・栗東・守山の3つの国際交流協会と滋賀がいいもん市との共催イベントとなりました。

2016年11月13日(日)、栗東芸術文化会館「さきら」前広場で開催された「世界と出会う交流広場」に、初めてボランティアスタッフとして参加しました。このイベントにはKIFA(草津)の他、RIFA(栗東)・MIFA(守山)、JICA、NPO滋賀いいもん市が参加し、色々な国のダンスや歌のステージ、遊びコーナー、世界の食の屋台、手作り作品を販売する屋台、大道芸人やミニ電車などのイベントが催されました。

KIFAは遊びコーナーで、「^{かっちゅう}甲冑体験&バルーン刀作り」「まとあて国旗ビンゴ」「ティクタクスロー」という遊びの場を提供しました。

私は、「まとあて国旗ビンゴ」を担当しました。「ティクタクスロー」と同じテントで、それぞれの遊びに2人ずつ担当が付きましました。

この遊びは、参加者に3×3のシートに9ヶ国の国旗のシールを貼ってもらい、国旗のシールを張った2本のペットボトルを9本立て、これをボールで倒すという遊びです。倒れたペットボトルに貼っ

た国旗でシート上にビンゴができればプレゼントの飴がもらえるというものです。

「ティクタクスロー」は輪投げのような遊びで、3×3の9つのマスに区切られた台に「輪」の代わりにお手玉を投げ、ビンゴができればプレゼントの飴がもらえるというものです。

参加者は子供たちが多かったのですが、中にはケニアからきている留学生たちも参加してくれました。ほとんどの参加者は「ティクタクスロー」と「まとあて国旗ビンゴ」の両方をしてくれました。「ティクタクスロー」も「まとあて国旗ビンゴ」も大盛況で、終には景品のお菓子が足りなくなるほどでした。

いろいろな催しがあったのですが、残念ながら自分の担当が忙しくて、他の催しを見る余裕はほとんどありませんでした。唯一、お昼時間に1時間休憩があったので、その時お昼を食べながらステージのダンスを見たぐらいです。昼食は「世界の食の屋台」でペルーとインドの料理を食べました。とても忙しい1日でしたが、参加者や他の



スタッフと和気あいあいのとても楽しい1日になりました。

10月30日に開催された「ハロウィン」にもボランティアスタッフとして参加し、今回で2回目のボランティアスタッフ参加ですが、意外にボランティア参加者が少ないと感じています。これからもできる限り参加しようと思っていますが、もっとたくさんの人にKIFAの活動を知ってもらい参加してほしいと思います。

(KIFA会員 竹井 治)



シチズンシップ・スタディーズ

「シチズンシップ・スタディーズ」は、学生がボランティア活動を通じて地域に貢献しつつ、地域社会の一員としての自覚と能力を育み、専門知識の応用的な理解を深めることを目的とする立命館大学の正課目です。この制度を通じてKIFAで受け入れた学生2名が、1年間の活動を通じて感じたことをまとめてくれました。



シチズンシップスタディーズⅠの活動を振り返って

「世界と出会う交流広場」で苦勞した点

このイベントで私たちは特に3つの点で苦勞しました。まず苦勞した点は企画を立案することでした。私たちにとって企画を考えるということは初めてだったので、まず何から考え始めていかに苦勞しました。次にイベントにむけての事前準備です。SNSのタイムラインに似せたフレームや看板、ダンボールでできた甲冑の組み立ては思いのほか時間がかかったので体力的にも精神的にも苦勞しました。最後に当日の運営です。これもまた私たちにとって初めての経験でした。円滑な運営のためにタイムテーブルを作ったりイベント前に風船を膨らませておいたりといった工夫をしましたが、予想よりお客さんが少なかったり風船の管理に手間取ったりしてしまいました。これら3つの点で私たちは苦勞しましたが同時に良い経験となりました。

活動を通して感じたこと

私たちはこのイベントを通して社会人の企画に対する熱意を会議をしている段階から感じる事ができました。やはり学生だけの企画だとどうしても妥協が出てしまいがちですが、KIFAの方たちは全員が本気で企画のために考えていました。「こういう場合はこうしないといけない」といった物事の対処

方法や、自分の意見が人と違うときは否定するのではなく提案されたアイデアに付加して検討するといった姿勢などを学ぶことができました。また先に述べたように企画の準備や運営の難しさがあったものの、私たちのブースはKIFAの方々にもアイデアを頂いたりして作り出したものなので、このイベントを通して協働の大切さを感じる事ができました。

自分たちの課題と今後

このプロジェクトで私たちはたくさんを経験し学びました。そしてそこで自分たちの課題を発見する事ができました。特に「暗黙知」という問題です。私たちが初めて会議に参加したときに、ブースを提案し、そのほかのことも話し合ったのですが、ほかの方がなんのことを話しているのかほとんど分からない状況がありました。これは事前に自分たちに情報がなかったから何を話しているのか分からなくなり、ゆえに意見を言えなかったと考えました。これらの課題に対して私たちは事前の情報収集は大切であるということ学びました。これらの課題を発見できたことにより将来役に立つ貴重な体験をすることができたと思います。半年間お世話になりました。ありがとうございます。

(シチズンシップ・スタディーズメンバー 三宅 良輔・小林 将太)

知ろう!世界の遊び ~KIFAファミリーイベント~

地域に暮らす日本人親子と外国人親子をつなぐ交流イベントを開催しました。子供たちには、いろいろな世界の遊びを体験していただきました。

12月4日、「知ろう!世界の遊び~KIFA Family Event~」を草津まちづくりセンターにて開催しました。

このイベントは、子育て世代のKIFA会員の方による持込み企画で、計画から準備、当日の運営にいたるまでのすべてを、地域に暮らす子育て世代の方々に行っていただきました。日本人はもちろん台湾人、カナダ人、イタリア人、エジプト人や、国際結婚をしている方などが協力して、イベントを作り上げてくださいました。

イベント当日は、13か国から100名を超える大勢の方々にご参加いただき、バルーンアート(大道芸)、絵本の読み聞かせ、くじびぎ、ポディーペインティング、クリスマスカードの作成、手足スタンプ、工作、そしてパバママサロン交流を行いました。

色々な国からやってきたパパ、ママのみなさんが、このイベントをきっかけにつながり、交流を広げていただけたらと願っています。



他団体紹介

他団体紹介の第2弾です!!

今回は多文化共生支援センター「SHIPS」の日本語教室を紹介します。



SHIPS日本語教室

ひらがなや漢字、基本会話など、学習レベルや学びたい内容に合わせてレッスンしています。たこ焼きパーティー、日本文化体験、楽しいイベントもあります。あなたも参加してみませんか？

Facebook 「SHIPS日本語教室」 検索してね♪



- ◆活動日・時間… 水・金曜日 10:30～12:00
- ◆場所… SHIPS多文化共生支援センター 3F
草津市草津1丁目13-12 Tel 077-561-5110



じもとーく

12月18日(日)、地元について話す (talk トーク) イベント、「じもとーく」を開催しました。



草津まちづくりセンターで毎週土曜日にボランティアで日本語教室を行っている団体「オリーブ」との共催イベントです。代表者によるお国自慢発表では、日本人と日本語を学んでいる外国出身の方々から、いろんな国のいろんな地元の話を聞かせていただきました。グループごとに話し合いながら各地のおやつをいただき、楽しく和やかで温かな雰囲気イベントとなりました。



お知らせ

Information

案内

平成29年度 総会と講演会のご案内

日頃は当協会の活動にご支援・ご協力いただきありがとうございます。平成29年度総会を下記のとおり開催いたします。また、総会後には、ウズベキスタン出身の留学生ノディーラさんによる講演会を予定しています。

- 日 時 : 平成29年4月22日(土)
【総会】10:00~11:30
【講演会】11:45~12:30
- 講演会講師 : Nodira Kurbanbaeva (部分通訳あり)
- 場 所 : 草津市役所8階大会議室
- 申し込み : KIFA事務局窓口・電話・FAX・メール



募集

ボランティア募集中

KIFAでは、ボランティアを随時募集中です。お問い合わせや登録は事務局窓口・電話・FAX・メールにてお願いいたします。

- さまざまなイベントの立案・計画
- イベント当日のお手伝い
- 日本語教室での指導
- 会報誌の作成(校正や執筆など)
- 通訳・翻訳
- 国際交流・国内交流事業
(姉妹都市・友好都市)



案内

フェイスブック開設のご案内

当協会ではかねてよりホームページにて広報をしておりますが、新しくフェイスブックの開設をいたしました。フェイスブックでは、KIFAのさまざまな活動案内や報告のほかに他団体のイベントについても紹介していますので、ぜひホームページと併せてご活用ください。

ホームページ : <http://kifa-japan.org/>
Facebook : <https://www.facebook.com/kifajapan/>

募集

英語サロン受講者募集

平成29年度前期英語サロン(全10回)のご案内です。イギリス人のデイビッド・スメリー先生による、毎回違ったテーマで英語を楽しむ人気のサロンです。託児(有料・1歳以上)もごございます。



- 日 時 : 4月24日~6月26日 毎週月曜日(連続10回)
【初級】9:30~10:30(60分)
【中級】10:35~11:50(75分)
- 場 所 : 草津市立まちづくりセンター(西大路町9番6号)
- 定 員 : 初級、中級ともに先着12名
- 参加費 : 【初級】KIFA会員/6,500円、一般/9,500円
【中級】KIFA会員/9,000円、一般/12,000円
- 託児料金 : 【初級】4,800円
【中級】6,000円(1歳児以上・先着4名まで)
- 申し込み開始日 : 4月3日(月)
- 申し込み : KIFA事務局窓口・電話・FAX・メール



草津市国際交流協会(KIFA) 〒525-8588 草津市草津三丁目13-30
TEL.077-561-2322 / FAX.055-561-2482 E-mail:kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

会員・ボランティア随時募集中!
お気軽にお問い合わせください